



—えべつ市民カレッジ(道民カレッジ連携講座)—

# 2023「ふるさと江別塾」

市と市内四大学の連携協力により、大学が保有する専門的知識と人材を活用し、充実した学習機会場の場として、「ふるさと江別塾」を開講します。今年は、3年ぶりに各大学を会場とした対面形式で行います。

**各回定員100名・受講料無料です。**

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

【申込方法】

各回の10日前までに、メール、FAX、電話でお申込みください。

※電話の受付時間は平日の9時から17時までです。

## 第1回

10月14日(土)

開講式 9:15~9:30

講義1 9:30~11:00

講義2 11:10~12:40

## 北翔大学

会場/7号棟2階 722教室

子どもたちのストレスチェックとストレスマネジメント

教育文化学部 心理カウンセリング学科 准教授 入江 智也

ゲーム依存の心理学~ゲームにはまる子どもとの関わり方~

教育文化学部 心理カウンセリング学科 准教授 入江 智也

## 第2回

10月21日(土)

講義1 9:30~11:00

講義2 11:10~12:40

## 札幌学院大学

会場/江別キャンパスE館3階 E301教室

(認知)言語学への招待

人文学部 准教授 眞田 敬介

情報に関するリテラシー

経済経営学部 教授 大國 充彦

## 第3回

10月28日(土)

講義1 9:30~11:00

講義2 11:10~12:40

## 北海道情報大学

会場/校舎棟1号館 202教室

生体計測装置から病気を発見、そして最先端医療へ

医療情報学部 医療情報学科 准教授 千葉 二三夫

不登校の理解と支援

医療情報学部 医療情報学科 講師 木下 弘基

## 第4回

11月4日(土)

講義1 9:10~10:40

講義2 10:50~12:20

## 酪農学園大学

会場/中央館1階 学生ホール

地域のお宝を発掘して畜産物をつくる  
~酪農学園大学産豚肉のひみつ~

農食環境学群 循環農学類 教授 山田 未知

生きものと土づくり

農食環境学群 循環農学類 准教授 小八重 善裕

閉講式 12:20~13:00

市民カレッジ学位授与式

<主催> 江別市・江別市教育委員会

お申込みは江別市教育委員会生涯学習課(江別市高砂町24-6)

TEL 381-1062 FAX 382-3434

e-mail: shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

※えべつ市民カレッジ受講シールは、1講義ごとにお渡しします。

※閉講式に合わせ、市民カレッジの学位認定者に終了証の授与式を行います。

※全4回(8講義)講座の受講者には閉講式で修了証をお渡しします。



## <講義内容>

### 第1回

10月14日(土)

## 北翔大学

江別市文京台23番地

電話011-387-3939 (地域連携センター)

会場 / 7号棟2階 722教室

講義  
1

9:30~11:00

### 子どもたちのストレスチェックとストレスマネジメント

教育文化学部 心理カウンセリング学科 准教授 入江 智也



【講義内容】子どものストレスとそれに伴って生じる問題は深刻で、早ければ小学校低学年頃から顕著になっていきます。おとな達は子ども達の身体の健康や発達だけでなく、心の健康と発達も、注意深く見守り、支えていかなければなりません。本講座では、子どもの心の健康を支えるために、子どものストレスのサインにはどのようなものがあるか、またそれらにどのように対処することができるか、講師が行った調査や研究、実践を元にお話しします。

講義  
2

11:10~12:40

### ゲーム依存の心理学～ゲームにはまる子どもとの関わり方～

教育文化学部 心理カウンセリング学科 准教授 入江 智也

【講義内容】近年、ゲーム障害という診断名ができました。ゲームは古くから人びとの暮らしとともにありますが、特に若者が過度に没頭することで、生活に支障をきたす場合があります。本講座では、講師がこれまでにやってきたゲームに関する調査や研究、実践を元に、ゲーム依存という状態について理解するとともに、特に子どもの過度なゲームへのご家庭等における対応方法を中心に紹介し、「ほどほどな」ゲームの仕方とはどのようなものかお話しします。

【プロフィール】京都府出身。立命館大学文学部心理学科卒業、北海道医療大学心理科学研究科博士後期課程修了。博士(臨床心理学)。2018年より現職。研究テーマは認知行動療法、メンタルヘルス、嗜癖・依存症など。著書(共著)に「代替行動の臨床実践ガイド」(北大路書房、2022年)など。

### 第2回

10月21日(土)

## 札幌学院大学

江別市文京台11番地

電話011-386-8111 (教育支援課)

会場 / 江別キャンパスE館3階 E301教室

講義  
1

9:30~11:00

### (認知)言語学への招待

人文学部 准教授 眞田 敬介



【講義内容】私たちが普段当たり前に使っている言葉。それをありのままに見つめ、言葉の仕組みを科学的に考えるのが言語学です。この講座では2部構成で、主に日本語(と時々英語)を例に、受講者の皆さまを言語学の世界に招待します。前半は言語変化をテーマに、後半は言葉を使うときの頭や心の働き(認知能力)の観点から言葉の仕組みに迫る「認知言語学」をテーマに、お話しします。普段何気なく使っている言葉の奥深さや面白さを会場で共有できれば幸いです。

【プロフィール】北海道夕張市出身。北海道大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。2009年4月に札幌学院大学人文学部英語英米文学科に赴任。英語、英語学、英語の発音の授業を担当。専門は英語学、認知言語学、英語文法論。著書は『認知言語学を拓く』(くろしお出版、共著)、『「比喩とは何か」—認知言語学からのアプローチ—』(開拓社、共訳)、『認知意味論を目指してI』(開拓社、共訳)。

講義  
2

11:10~12:40

### 情報に関するリテラシー

経済経営学部 教授 大國 充彦



【講義内容】インターネットが展開し、テレビ・新聞などの他にも、SNSなどから多くの情報発信がなされています。フェイクニュースが社会的な影響を持つこともあるので、情報の正確性や妥当性を検証するファクトチェックが大切だとされています。とはいえ、専門ではない領域の情報を、個人が検証することはほとんど不可能です。情報を適切に収集し適切に活用する態度として、今の時代に必要な事柄はどのようなものなのか、情報に関するリテラシーについて伝えようと思います。

【プロフィール】東京都出身。慶應義塾大学文学部、慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程満期退学。1994年4月、札幌学院大学専任講師。1998年4月、札幌学院大学助教授。2008年4月、札幌学院大学教授。専門は地域社会学、社会情報学。所属学会は、日本社会学会、地域社会学会、北海道社会学会、社会情報学会。



えべつ市民カレッジ(道民カレッジ連携講座)

2023「ふるさと江別塾」



## 第3回 10月28日(土)

# 北海道情報大学

江別市西野幌59番地2

電話011-385-4427 (通信教育部事務局)

会場/校舎棟1号館 202教室

講義  
1

9:30~11:00

### 生体計測装置から病気を発見、そして最先端医療へ

医療情報学部 医療情報学科 准教授 千葉 二三夫



【講義内容】病院には、高度化・複雑化している医療機器がたくさんあります。その医療機器を操作・管理するスペシャリストを臨床工学技士と言います。生体計測装置から考えられる病気を発見・治療・予防について、さらに普段目にする事のない最新の医療機器を用いた最先端医療やロボット手術、低侵襲治療についてお話し致します。

【プロフィール】根室市出身。1991年小樽看護専門学校卒業。1992年医療法人溪仁会手稲溪仁会病院 臨床工学部 主任、副部長、部長、経営管理部。2021年北海学園大学大学院経営学研究科修了 修士(経営学)。2022年北海道情報大学医療情報学部准教授、現在に至る。資格・認定士：看護師、臨床工学技士、救急救命士、体外循環技術認定士、透析技術認定士。日本体外循環技術医学会(代議員)、日本人工臓器学会、日本臨床工学会、日本アフェレシス学会北海道地方会(理事)。

講義  
2

11:10~12:40

### 不登校の理解と支援

医療情報学部 医療情報学科 講師 木下 弘基



【講義内容】令和3年度の文部科学省の調査結果によると、不登校の小中学生の数は24万人を超え過去最多となっています。子どもたちに、学校現場に今、何が起きているのでしょうか。同じ地域に生きる住民として、不登校の子どもたちに私たちは何ができるでしょうか。本講座では不登校に対する理解を深め、不登校の子どもや家族への支援について臨床心理学の視点から学んでいきます。

【プロフィール】北海道教育大学大学院教育学研究科学校臨床心理専攻修了。北海道大学大学院教育学院博士後期課程単位取得退学。2005年より札幌市技術職員(精神科療法士)として、市立札幌病院静療院児童精神科、札幌市子ども発達支援総合センターでの勤務を経て、2021年より現職。専門は児童期、思春期の心理支援、不登校の支援、発達障害の支援で、臨床心理士、公認心理師の資格を有する。

## 第4回 11月 4日(土)

# 酪農学園大学

江別市文京台緑町582番地

電話011-388-4131 (社会連携センター地域連携課)

会場/中央館1階 学生ホール

講義  
1

9:10~10:40

### 地域のお宝を発掘して畜産物をつくる ~酪農学園大学産豚肉のひみつ~

農食環境学群 循環農学類 教授 山田 未知



【講義内容】家畜用配合飼料はその多くが海外に依存しており、飼料価格は現在、高止まりを続けている。一方、北海道は食料自給率が200%を超え、食品製造も盛んであり、その製造の際に発生する製造副産物も多々みられる。これらは畜産側から見れば飼料原料となり得る「お宝」である。酪農学園大学では、株式会社菊田食品(江別市)を皮切りに、この地域の様々な食品製造業者の協力を得て、この地域で発掘した養豚用飼料原料の活用による豚肉生産に取り組んでいる。

【プロフィール】福島県出身。1991年に宇都宮大学農学部畜産学科卒業。1993年に宇都宮大学大学院農学研究科修士課程修了。その後、福島県庁に入庁し、畜産行政や試験研究、農業教育等に携わる。2000年に東京農工大学大学院連合農学研究科にて博士(農学)を取得。2012年に酪農学園大学(中小家畜飼養学研究室)に着任。2021年より現職。

講義  
2

10:50~12:20

### 生きものと土づくり

農食環境学群 循環農学類 准教授 小八重 善裕



【講義内容】農業は土づくりが大切だと言われます。家庭菜園でも野菜がうまく育たないと、土が悪いのかなあ、と思います。でもいい土っていったい何なのか、そんな土はどうやってできるのか、簡単にできるものなのか…土をつくっている生きものたち(植物や微生物など)に注目して、どうやって江別の土をよくして、おいしいものが作れるのかを考えます。

【プロフィール】宮崎県出身。2000年名古屋大学農学部資源生物環境学科卒業。2005年に名古屋大学大学院生命農学研究科にて博士(農学)取得後、名古屋大学大学院生命農学研究科博士研究員、東京大学大学院農学生命科学研究科特任助教、農研機構北海道農業研究センター特別研究員を経て、2018年より現職。専門分野は植物生理学、土壌微生物学、有機農業など。特に植物と土壌微生物の共生関係から、土づくりにつながる研究を行っている。



# ふるさと江別塾参加申込書<FAX用紙>

受講希望講義に○を付けてください。(複数可)

第1回 10月14日 (土)	<input type="checkbox"/> 講義 1 子どもたちのストレスチェックとストレスマネジメント <input type="checkbox"/> 講義 2 ゲーム依存の心理学 ~ゲームにはまる子どもとの関わり方~
第2回 10月21日 (土)	<input type="checkbox"/> 講義 1 (認知) 言語学への招待 <input type="checkbox"/> 講義 2 情報に関するリテラシー
第3回 10月28日 (土)	<input type="checkbox"/> 講義 1 生体計測装置から病気を発見、そして最先端医療へ <input type="checkbox"/> 講義 2 不登校の理解と支援
第4回 11月4日 (土)	<input type="checkbox"/> 講義 1 地域のお宝を発掘して畜産物をつくる~酪農学園大学産豚肉のひみつ~ <input type="checkbox"/> 講義 2 生きものと土づくり

※全講義を希望される方は全てに○をお書きください。※申込書に記入いただいた個人情報は本事業以外には利用いたしません。

お申込日	月 日	「えべつ市民カレッジ手帳」をご希望の方は○をご記入ください。➡ (後日郵送します)
学生番号	<えべつ市民カレッジ生のみ>	
フリガナ		えべつ市民カレッジ生の申込みはされましたか?カレッジ生は「えべつ市民カレッジ手帳」を持ち、受講時にもらえるシールを貼ることで、自分がいつ、どんな講座を受講していたのか記録できます。受講シールが一定の数以上になると、その数に応じて、修了証(学位)を受けることができます。
お名前		
ご住所	〒 -	
電話番号	( ) -	大正・昭和・平成・西暦 生年月日 年 月 日生 Eメール アドレス <記入なしでも可>

申込書送信先/江別市教育委員会生涯学習課(〒067-0074 江別市高砂町 24-6)

## FAX 011-382-3434

### 会場と最寄りのバス停留所 (大学には駐車場あり)

